



ミドリちゃん、サンちゃん、ありがとう！ ～地域に支えられたヤギの除草～

5月中旬、自治会長さんのご厚意により、運動場の除草のために本校へやってきてくれた2頭のヤギ、ミドリちゃんとサンちゃん。

本日、地域へお返しすることとなり、トラックで去っていく姿を感謝の気持ちで見送りました。

一生懸命に草をはみ、運動場をきれいにしてくれたヤギたち。そして何より、この取組を温かく支えてくださった地域の皆様に心から感謝いたします。私たちが帰省する土日にもわざわざ様子を見に来てくださった方、飼い方を優しく教えてくださった方など、多くの皆様の支えがあってこそその活動でした。

この間、職員もヤギの扱いに慣れていきました。午前・午後の場所移動、水の取り換え、排せつ物の処理、リードをもって散歩、時にはデザート？に木の葉を刈って与えることもありました。これらの取組もあり、ヤギたちも職員に懐いていきました。特に世話をしていた教頭先生に対する2頭の態度は違いました。教頭先生が出勤する車の音に反応し鳴いて呼ぶ様子、教頭先生が運動場に降りると駆け寄ろうとする様子・・・。

「運動場にヤギがいる学校」は、長崎県内でもおそらく本校だけだったことでしょう。

間もなく夏休みを迎えるにあたり、学校からの引き取り依頼にもすぐに対応してくださった自治会長さんをはじめ、最後まで地域の皆様の温かいお心遣いに助けられた期間でした。

ミドリちゃん、サンちゃん、そして地域の皆様、本当にありがとうございました。



黄囲み箇所は、ヤギが草を食べた成果です！

リードが届く範囲をしっかりときれいにしてくれました。